



2020年12月2日
東日本旅客鉄道株式会社

高輪築堤の出土について

- JR東日本が進めている品川開発プロジェクトの計画エリア内において、高輪築堤の一部とみられる構造物が出土しました。高輪築堤とは、明治初期に鉄道を敷設するため海上に構築された構造物です。
- 今後、まちづくりの中で、約150年前（明治初期）に構築された高輪築堤を継承し、地域の歴史価値向上と地域社会への貢献を目指します。現在、港区教育委員会などの関係者と連携を図りながら、高輪築堤の調査を進めるとともに、保存や公開展示などを検討しています。

1. 高輪築堤の出土について

2019年4月、品川駅改良工事において石積みの一部が見つかりました。その後、2019年11月に実施した山手線および京浜東北線の線路切換工事以降、レールなどの撤去を行ったところ2020年7月、高輪築堤の一部とみられる構造物が見つかりました。現在、港区教育委員会などの関係者と協議・調査を実施しています。

出土した築堤の一部

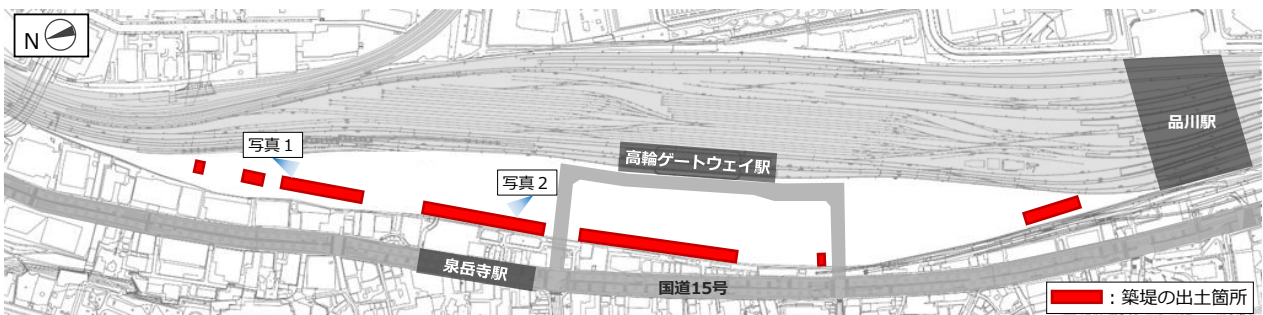


写真1



写真2

築堤の出土箇所



2. 築堤の調査および保存・公開などについて

- 近代日本の発展に寄与した鉄道の歴史や当時の土木技術について、港区教育委員会などの関係者や鉄道博物館と連携を図りながら、調査や研究を進めます。
- 地域の歴史価値向上と地域社会への貢献を目指し、築堤の一部現地保存および移築保存を通じた公開展示などを検討しています。
- 周辺地域を含めた歴史・地域文化を学べるプログラムの実施を検討します。
- 出土した築堤について、一般の方を対象とした見学会を計画しています。詳細については別途お知らせします。

<品川開発プロジェクト（I期）概要>

品川開発プロジェクトにおいては、国内外から先進的な企業と人材が集い、多様な交流から新たなビジネス・文化が生まれるまちづくりを目指しています。「グローバルゲートウェイ品川」をコンセプトに、国際交流拠点として、オフィス、商業、ホテル、コンベンション、文化創造施設などの複合用途の導入を進めるとともに、周辺地域との防災連携などを図ります。また、未来に向けた実験の場として、さまざまな技術の実装やビジネス創出を行う先端的なまちづくりを進めます。



TokyoYard PROJECT

新たな文化・ビジネスが生まれ続けるための仕組みづくりの一環として、この場所を舞台にあたらしいものを生み出したい人たち、またそれを支えたいと思う人たちを集め、共創していくための取組みが稼働しています。